

【NEWS RELEASE】

2021年3月31日

各位

株式会社三井住友銀行

鉄建建設株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、鉄建建設株式会社（代表取締役社長：伊藤 泰司）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただき融資商品です。

今回の鉄建建設株式会社に対する評価結果は、「ローカル／グローバル・コミュニティへの配慮」、「環境マネジメント」、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① BRT 専用道の整備や新公共交通の建設に携わり、社会インフラ基盤の整備を通じて、地域の発展等に貢献しておられるほか、独自の技術による耐震補強・免震工事等を通じて、持続可能なインフラ基盤の構築に寄与しておられる点
- ② 環境側面では、事業活動に伴うCO2排出量について把握し、2030年を見据えたCO2排出原単位削減目標を設定。また、大学や企業と連携し、バイオマスガス発電やバイオマスプラスチックの開発等の新たな取組も進めておられる点
- ③ 統合レポートとして「コーポレートレポート」を発行し、経営トップがESG経営を重視する姿勢を明確にされているとともに、事業戦略を通じて貢献するSDGsの目標を特定し、経営上の重要課題としてサステナビリティに取り組んでおられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」「目標11：住み続けられるまちづくりを」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



再生可能エネルギー事業への
展開「バイオマスガス発電」



脱炭素社会の実現、施工実
験棟建設による「ZEB 取得」



社会インフラ整備への貢献
「BRT専用道の整備」

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。